

令和7年度 福岡県アレルギー疾患医療連絡協議会 議事録

日 時：令和7年11月13日（木）17：55～19：00

場 所：福岡県庁 南棟10階 特別西（特1）会議室

出席者：掛川委員、渋田委員、高園委員、竹野委員、西間会長、百武副会長、吉田委員、渡邊
委員、杉山先生（福岡病院アレルギーセンター副センター長）（50音順）

事務局：がん感染症疾病対策課 石田課長、川原企画監、疾病対策係 小迫係長、川崎

※議事録の文章は、実際の発言の趣旨を損なわない程度に、読みやすく整理したものです。

（司会）

時間になりましたので、令和7年度福岡県アレルギー疾患医療連絡協議会を開催させていただきます。委員の皆様方におかれましては、大変お忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。

私は、本日の司会を担当いたします保健医療介護部がん感染症疾病対策課 企画監の川原でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。それでは、開催にあたりまして課長の石田より一言ご挨拶申し上げます。

（がん感染症疾病対策課長）

皆さん、こんばんは。がん感染症疾病対策課長の石田と申します。

大変お忙しい中にも関わらず、福岡県アレルギー疾患医療連絡協議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、日頃から本県の保健医療行政につきまして、ご指導、ご支援いただきしておりますことを重ねて御礼申し上げたいと思います。

この協議会は、アレルギー疾患に係る診療連携体制の整備や、アレルギー疾患対策の推進について、ご意見・ご協議いただく場として設置したものでございます。

令和5年度におきましては、第二期福岡県アレルギー疾患対策推進計画について、ご意見、ご協議いただいたところでございます。

この計画に基づいて県においては、いろいろな施策を行っているところでございます。国においても、免疫アレルギー疾患研究10か年戦略を策定しており、昨年中間評価がなされたところでございます。この中では、今後の課題であったり研究の成果について示されているという状況となっているところでございます。

本日の議題についてですけれども、1点目は県の方から、昨年度今年度含めてのアレルギー疾患対策の取組の状況についてご説明させていただきます。2点目は県のアレルギー疾患医療拠点病院であります独立行政法人国立病院機構福岡病院の令和6年度の実績、それから7年度の取り組みなどについて、ご報告、説明をさせていただきたいと考えているところでございます。

本日は時間も限られているということをございますが、委員の皆様から、忌憚のないご意見をいただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

（司会）

福岡県アレルギー疾患医療連絡協議会委員の名簿について、お手元に配布のとおりですが、今回から新たに福岡県医師会理事 百武委員、福岡大学眼科学教授 平山委員、福岡市保健医療局保健所健康危機管理部健康危機管理課長 高園委員、久留米市健康福祉部保健所健康推進課長 渋田委員、にご就任いただいております。なお、本日は平山委員、中原委員、安藤委員

についてはご都合により欠席となっております。また、拠点病院であります福岡病院アレルギーセンター副センター長の杉山先生にもご出席いただく予定となっております。

続きまして、事務局職員でございます。がん感染症疾病対策課疾病対策係長の小迫でございます。主任技師の川崎でございます。

なお、議事内容につきましては、ホームページに掲載予定となっておりますので、ご了承いただきますようお願いいたします。

協議会副会長にご就任いただいたおりました、福岡県医師会田中理事が協議会委員を退任されましたので、新しく副会長を選出させていただきたいと考えております。福岡県アレルギー疾患医療連絡協議会設置要綱の第5条第2項において、副会長は会長の指名により選任すると規定されております。本規定に基づき西間会長に、副会長を選任いただきたいと思います。西間会長よろしくお願ひいたします。

(西間会長)

百武委員、よろしくお願ひいたします。

(司会)

選任いただきましたので、百武委員に本協議会の副会長をお願いいたしたいと存じます。

議題の審議に入る前に、お手元の資料の確認をさせていただきます。

(資料読み上げ)

資料の不足等はございませんでしょうか。それでは、これより議事に入らせていただきます。議事進行につきましては、西間会長にお願いしたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。

(西間会長)

それでは会議次第に沿って進めさせていただきます。議題1は、福岡県のアレルギー疾患対策についてであります。では、事務局からお願ひいたします。

【事務局説明】

(西間会長)

ありがとうございました。ただいまご説明いただきましたが、ご質問、ご意見等はありませんでしょうか。

(渡邊委員)

栄養士会です。市民公開講座や専門職に対する研修等がいくつか行われていますけれども、参加人数に対して目標数を達成していると理解してよろしいでしょうか。

(事務局)

アレルギーの計画策定の際に数値目標をどうするかという議論もありましたが、最終的に数値目標を置いているわけではないです。

(渡邊委員)

市民公開講座の参加者が少なくて残念かなと思います。専門職の方はそれなりにいらっしゃるのですが、一般の方に理解してもらうためにも参加者数が3桁はあってもいいのかなと思います。皆さん結構、アレルギーをたくさん持ってらっしゃると思います。せっかく開かれるのもったいないかなと思った次第です。

(西間会長)

特に、一般市民向けの方が、集まりが悪いです。電話相談もそうですが、もう少し参加者数がいてもいいとは思います。無料ですからね。広報も結構、県とか市とかですね、いろんなところへ努力して働きかけているのですけれども、参加者は少ないですね。ちょっと情報過多なところもあると思います。普通の情報提供では、なかなか皆さんに情報が届かないような感じです。

(渡邊委員)

福岡健康アプリでポイントが何点か付くとかどうですかね。

(吉田委員)

今年度の市民公開講座11月24日に関しては、申し込みの枠が埋まったため制限をする報告を、院内の会議で報告を受けています。

(西間会長)

2週間ほど前に日本アレルギー学会の総会があり、それで都民向けの研修をやりました。例年数十人しか集まらないので、今年はしゃべる人間もマスコミ受けする上手い人をそろえて、私が司会したのですが、景品も用意して、それでも集まりが悪かった。景品は評判が良かつた。場所は八重洲で良い所で、講師の工夫をしたけれども何十人かしか集まらないんですね。今までで一番よく集まって80人位じゃないかな。それくらいにしか集まらないですよ。対人口で考えれば、福岡はまだいいのかもしれないんですけども。食物アレルギーをテーマにしないとまず来ません。ぜん息では来ない。それから花粉症もシーズンにこれだけいつも問題になっているけれども、それでもあまり来ないです。アトピー性皮膚炎も新しい薬が次々出ているから来るんじゃないかなと思うのだけれども、これもなかなか来ない。

(事務局)

市民公開講座の会場は昨年度同様、電気共創館で実施する予定となっております。

(西間会長)

場所もいいですし、いい会議をしておりますし。よい考えがあればぜひ出してください。

(渡邊委員)

今の方々はインスタグラムとかそういうものを利用してあつたりしますし、せっかくの講演なのでユーチューブで流すとか。

(西間会長)

過激な形で出さないと、なかなか見ないです。

(竹野委員)

今はどこまでアナウンスしているのですか？

(事務局)

県医師会や、市町村、保健所等には例年周知を行っています。

(医師会)

医師会としても、群市区医師会には情報はしっかりと流しているところではあります。

(掛川委員)

もし可能であれば、看護協会もチラシの配布等、少しお役に立てるかもしれません。「まちの保健室」という、色々な商業施設に出向いて活動しているので、その時に声掛けや、協会員に周知することは可能ですので、お役に立てれば協力できるかと思います。

(西間会長)

今の意見をしっかりと取り入れてください。ありがとうございました。いくつかご意見が出ましたので、それをぜひ取り入れてですね、対策を進めるようお願いします。よろしいでしょうか。

それでは、続きまして、議題2 令和6年度福岡県アレルギー疾患医療拠点病院事業実績及び令和7年度福岡県アレルギー疾患医療拠点病院事業計画について、拠点病院の方から説明をお願いします。

【吉田委員（福岡病院長（アレルギーセンター長））説明】

(西間会長)

ご説明ありがとうございます。今の説明に対し、何かご質問はありますか。

(吉田委員)

福岡県の方に1つお願いがあるのですけれども、補助金いただきこれだけの幅広い活動ができるありますが、医療従事者向けの講習会等、福岡市から離れたところで実施しているというところで、もう少しご考慮、ご配慮いただけだとさらに活動の幅が広がると思いますのでご検討いただければありがたく存じます。

(事務局)

直ぐに返事はできません。他部署との協議もありますので、もっと内容までお話しさせていただきまして、どのような中身なのかお話をさせていただいた上で検討していきたいと思います。

(西間会長)

県としては、北九州は今回、去年と実施したので足跡があるのですが、やっぱり筑豊筑後のところで、やりたいなというのが懸案ですね。その辺に広げていくことですかね。でも、その地域がその気になってくれないとなかなか難しいですが。

(吉田委員)

先ほどの就労支援事業に関しても、国の方から不採択になったけれども、今になって少し実績が出ていますので、継続をうちとしてはしたいというところがあります。

(西間会長)

上手くやれなかったから、多分しないと思います。やはりそこはもう担当する人間をはめてやらないと継続性がないからですね。それなりの成績が出たんだけど、じやあ継続してその例えれば県に、誰か担当の職員が1人増えるかというと、アレルギーだけでも大変。なかなか人を増やすことはできないからですね。

皆様よろしいでしょうか。それでは続きまして、事務局の方から厚生労働省で行われた第19回アレルギー疾患対策推進協議会について、どのような内容であったか説明していただきたいと思います。資料3に基づいてお願ひします。

【事務局説明】

(西間会長)

はい。説明いただきました。特に福岡県が直接何か担当するというような、目新しいものはありませんでした。淡々と進めていく形です。

何かご意見ありますか。ないようですから、一応こちら側で用意したものについてはこれで終了いたしました。あとは事務局にお返ししますが委員の先生方よろしいでしょうか。

(司会)

西間会長ありがとうございました。また、委員の皆様におかれましては、長時間にわたり、ご討議いただきまして、ありがとうございます。それでは、これをもちまして令和7年度福岡県アレルギー疾患医療連絡協議会を終了いたします。では、誠にありがとうございました。